

研究大会が開催されました

去る、8月23日(日曜日)。東京大学・弥生講堂で「全国学校飼育動物研究大会」が開催されました。

特別公演では、新美南吉研究家の保坂先生のお話を伺いました。

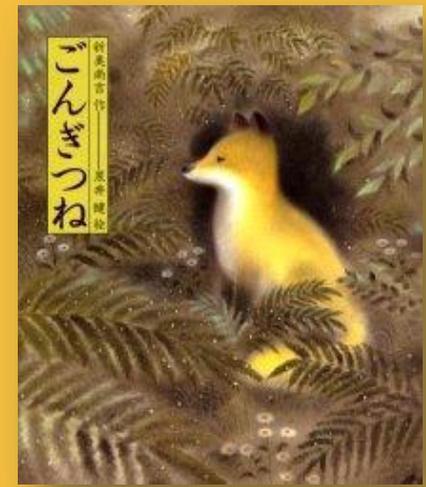
口頭発表では、動物園と連携した動物飼育体験活動、動物飼育が子供の心情に大きな影響を与えることや動物飼育が作文力に大きく良い影響を与えることなどが発表されました。

ポスター発表では、企業と連携した動物飼育の事例、不登校の児童へのモルモット飼育を用いた支援や学校獣医師制度の紹介などがされました。



中川先生のパネル発表の光景

Topics



「ごんぎつね」と飼育動物

新美南吉の「ごんぎつね」は、小学4年生の国語の教科書に載っている物語です。この「ごんぎつね」の物語は、すべての教科書に載っている物語だとのこと。

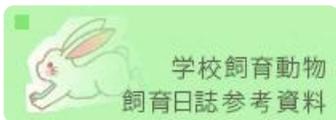
新美南吉の「ごんぎつね」は、全国の小学校の子どもさんたちに、共通する教育的要素を含んだ教材であるといえるでしょう。

登場するごんぎつねが、人間のような感情を持ち、人間のような行動をすることが、同じように動物を題材にしている「椋鳩十」の物語や「シートン動物記」と一線を画すものとしているのでしょう。

動物の視点に人間の視点を置き換えることは、学校での動物飼育で得られる重要な体験です。

みんなの がっこうのどうぶつ

第14号 2015年9月上旬



印刷はA4横



公益社団法人 栃木県獣医師会
学校飼育動物委員会

〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和1-1-23
☎ 0286(22)7793 Fax0286(21)9660

[栃木県獣医師会 学校飼育動物委員会](#)

根拠に基づく動物飼育

飼育方式の種類-2

栃木県内の小学校では比較的少ない飼育の形態ですが、今回は学年飼育を取り上げました。一番効果的に良い影響を与える方式とされています。

- 飼育委員会方式
 - 学年飼育方式
 - 縦割り班方式
 - 登校班方式
- 飼育委員会と学年、縦割班、登校班飼育の併設方式

- 学年飼育方式
1・2年生の低学年での実施が多い

【利点】

- ◇ 多くの子供さんに動物と接する機会がある
- ◇ 継続した飼育体験ができる
- ◇ 教育的な効果をもっとも得られる
- ◇ 飼育委員会が掃除から解放されることで、より高密度な飼育活動を行うことができる
- ◇ 学校の動物としての意識が高まる

【欠点】

- ◆ より教育的な計画が必要となる
- ◆ 飼育に関する組織づくりが必要となる
- ◆ アレルギーや動物が嫌いな子供、保護者へ配慮、対策が必要になる

欠点を補う

◆より教育的な計画が必要になる

より効果的に良い影響を得るためにも、また、携わる子供の数が多くなることから、計画的な飼育活動をする必要があります。

「学校飼育動物を考えるページ」に学年別動物飼育介在教育カリキュラムとして、具体的な活動計画が掲載されていますので、参考にしてみてください。(年間計画)

◆飼育に関する組織づくりが必要になる

学年飼育には、1・2年生の子供さん、担任の先生、学年主任の先生、飼育委員会の子供さん、飼育委員会の先生が関わります。

お世話は1・2年生の子供さん、それを指導する飼育委員会の子供さんという組織の形を明確にする必要があります。

一方、先生方においては、飼育委員会の先生と担任の先生が日常的な世話の指導をし、学年主任の先生や教頭先生が包括的な役割を果たすような形をとっているケースもあります。

このように、しっかりと組織づくりをすることで、問題の解決に速やかに対処できるようになります。

◆アレルギーや動物嫌いな子供、保護者へ配慮、対策が必要になる

アレルギーや動物嫌いな子供さんには、直接的なお世話に関与させることは難しいですが、エサの準備、健康観察など離れていてもできることを見つけ、参加してもらうことができます。

動物に関心を持つことが第一目標ですので、直接触ることがなくても、目的は果たすことができるでしょう。

保護者においては、そのような教育的な意義を説明し、教育的な活動であることを理解していただく必要があります。それでも不参加を希望される場合には、飼育日誌の整理、取りまとめなどを通して、他の子供さんが体験したことを共有することで、間接的に飼育体験をすることができるでしょう。



Free Space

ウサギをもらってください

宇都宮の小学校と栃木市の小学校で、ウサギが増えすぎて困っています。

もらっていただける小学校、先生、ご家庭を募っています。獣医師会事務局までご連絡ください。



ウサギさんを もらってください

慈しむことを感じてみませんか

健康状態をしっかりと診て、健康な状態で
差し上げることができます



公益社団法人
栃木県獣医師会

☎028-622-7793